

# 日蓮聖人門連だより

発行  
日蓮聖人門下連合会

〒146-8544  
東京都大田区池上1-32-15  
電話 (03) 3751-7181  
http://nichiren-monka.org/

令和2年2月16日  
第61号

## 法華宗(本門流)管長就任挨拶

法華宗(本門流) 第三百三十八代管長 原井日鳳



の円成が望まれております。

法華宗(本門流) 第三百三十八代管長に昨年十一月十三日就任いたしました。宜しく願い申し上げます。

自山大本山光長寺は、宗祖を御開山に仰ぎ、ご直弟子日春日法両聖人を同時二祖に建治二年(一二七六)草創の法華本門の道場でございます。

宗祖ご真蹟本尊をはじめ伝来の靈宝を護持し、創建当時の伽藍配置を伝え、七百五十年の森の境内を今日に伝えております。御生誕八〇〇年の記念といたしまして、靈宝護持の諸事業を主として、日法聖人ご廟所改修と墓域発掘における出土品の調査、御宝物展示室、御宝蔵内収納棚新設等々を推進中であります。

当宗の四大本山は各山各々の記念事業を完成に向けて推進中であり、米国桑港仏教会の改修も含め明年

今日の社会に眼を転ずれば、地球の気候変動は待ったなしで、科学者達は既に「異常事態宣言」を発するに至りました。しかし世界の為政者達は自国の利益第一であり、日本も環境問題に積極的ではありません。宗教界も環境問題に見解が求められていますが、近年よく言及されるのは「共生」(共に生きる)の声でありましよう。人類が互いに尊重し合

を蘇生して他の命に尽くす生き方を実践し、始めて今日の地球環境も改善し、蘇生する可能性が出てくるのだと思います。今日の世に欠けている供養の心を取り

戻し、人々が「地涌の菩薩」の自覚を持つことが最も重要であると思えます。「あなたまかせ」ではなく、菩薩行の実践こそ、仏教が力強く提唱しなければならぬ人の生き方だと思えます。「蘇生」を念頭に微力を尽くして参りたく存じます。各位のご指導をお願いいたします。

合掌

## 「小湊誕生寺結集」開催告知

日蓮聖人御降誕八〇〇年慶讃事業の一つとして、今年十月二十四日開催の京都「小湊誕生寺結集」が令和二年五月二十八日(木)に開催されること決定された。これは、予てより「門下連合会」として日蓮聖人御降誕の聖地、小湊に参じ、共にお題目を唱え、報恩の誠を

捧げたい」との声が多く挙がっていたことを受け、昨年十月二十四日開催の京都市理事會にて提案、多くの賛同を以て承認されたものである。日蓮聖人御降誕八〇〇年の慶年を間近に控え、気運が益々高まる中、門下連合会の一層の団結と更なる興隆に向け、日蓮聖人御降誕の地において誓いを新たにす。

詳細な行程は現在、調整中であるが、出席者は門下連合会役員を中心に募り、慶讃法要、懇親会その他、常任理事會も併せて開催する予定である。

## 西安草堂寺住職釋諦性法師「告別式」並びに「茶毘式」に関する報告

法華經漢訳の聖地である中国西安草堂寺の住職釋諦性法師が急遽心不全の為、遷化された。令和元年六月十一日開催「西安草堂寺結集」にて釋諦性法師より温かな参拝歓迎を受けて日も

十時三十分、草堂寺山務員はじめ関係者により抱えられた釋諦性法師の座棺は、約一万五千人の参列者を引き連れた大行列となり、約三十分掛けて茶毘所へ向かった。座棺はレンガ作りの茶毘所へ収められ、大導師はじめ木内常任理事等により献香がなされた。

当日午前八時、大勢の警察官が警備にあたり厳戒態勢の山門をくぐると草堂寺内は約一万五千人の参列者で埋め尽くされていた。草堂寺到着早々に、当日の大導師であり中国仏教会副会長大慈恩寺住職増勤法師、続いて草堂寺次期住職釋理証法師より訪中御礼挨拶を頂戴した。

十二時三十分、多くの薪と油が茶毘所内に投入された後、大導師により茶毘所に点火され、茶毘式が終了した。

釋諦性法師のお人柄やご遺徳が偲ばれる盛大な「告別式」並びに「茶毘式」であった。釋諦性法師の増圓妙道をお祈り致します。

高度経済成長期と一体となった64年大会の開催にあたっては東海道新幹線と首都高速道路の開通や、競技場や様々な施設の完備で、戦後復興を果たしていた日本が世界に認められる第一歩を踏み出したのである。

## 從地ゆじゅつ

◆いよいよ開催が間近に迫った東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会。1964年大会以来、実に56年ぶりの東京での夏季オリンピック開催となる。トップアスリート達の熱い戦いを身近に感じられる期待感が日に日に高まる。同時に大きな経済効果が見込まれ今後の日本社会に大きく影響を及ぼす歴史的な出来事になるだろう。

しかし一方で、工業化による騒音や大気汚染、公害問題が起こり生活環境は悪化していった。また人々の公衆道徳の乱れも取り沙汰された。例えば、道路に紙くずや煙草を平気で捨てる者が多く、新聞では競技会場に残された大量のごみ山について報道され、日本の恥辱を世界に晒すことが懸念されていた。さらに高度成長で「物は得たが心は失った」と日本人の多くが感じていると世論調査で指摘している。

◆日蓮大聖人は「蔵の財よりも身の財すぐれたり 身の財より心の財第一なり」「教主釈尊出世の本懐は人の振舞いに候ひけるぞ」と告された。物質的に豊かになった社会の中で、世界から注目が集まる今こそ、本来日本人の持つ道徳や礼儀や秩序に情緒などの豊かな心をさらに養い、そしてボランティア精神やおもてなしの心といった公德心の向上を目指し、未来へと継承していくことが出来れば何よりのレガシー(遺産)となるのではないだろうか。(啓)



誕生寺総門



日蓮聖人御幼像



木内常任理事による弔辞の奉呈

# 【日蓮宗】宗派の活動

宗祖降誕八百年担当課長 太田順祥

「門連だより」が昭和六十一年に創刊号が発刊されて以来、早いもので三十三年の歳月が過ぎ去り、本号で第六十一号を迎えました。私自身、平成八年から平成二十五年までの十八年間、門下連合会（以下、門連という）幹事として、常任理事会・理事会・機関紙編集委員会等に携わらせていただきました。門連について、まだ何も分からない私に、懇切丁寧に御指導いただいたのが、当時、門連の担当幹事長を務めておられました富川孝恭上人でありました。上人は心の底から門連を愛し、お題目で門下が一つになることを願って止みませんでした。しかし、残念ながら宗務院を退職した後、平成十四年十月二日、世寿六十二歳にて御遷化されました。ここに、富川孝恭上人・慈生院日陽上人の増円妙道を御祈念致します。富川上人にお見せすることは叶いませんでしたが、上人の遺志を継承し、門下の結束力を以て、二つの嘉会を象徴する展覧会を無事に円成することが出来ました。立教開宗七百五十年慶讃事業として、東京上野国立博物館で開催された「大日蓮展」と、立

宗祖の鴻恩に謝し、意義ある降誕八百年慶讃事業を円成することは、各門下の大いなる伝統の総力を示す絶好の機会であります。

日蓮宗では、宗祖出世の本懐である立正安国、仏国土厳浄を体し、祖願達成のため、「立正安国・お題目結縁運動」を展開し、但行礼拝の精神に基づき「いのちに合掌」をスローガンに掲げ、合掌の心を社会に広めることにより「安穏な社会づくり、人づくり」を推進してまいりました。令和三年にお迎えする宗祖降誕八百年に向けて、『合掌の心を世界へ、未来へ』というテーマのもと、各種慶讃事業の企画立案を行い、後記の三本柱を構築しました。

一、日蓮宗ブランド化事業  
日蓮聖人および日蓮宗の社会における認知度を高めるため、宗門の対外的情報発信力を向上させる事業です。

二、寺院活性化事業  
布教現場である寺院の活性化のため、寺院の布教活動に必要なソフトを作っていく事業です。

三、人材育成事業  
宗門子弟の「お坊さんになりたい」気持ちを育て、青少年信徒の活動を活発にし、教育機関としての信行道場の整備を行う事業です。

宗門事業としては、建築や修繕などのハード整備事業から、ソフト整備事業に主軸を移行し、布教現場である寺院を活性化する事業展開を目指しております。

宗祖降誕八百年担当課長として、京都国立博物館で開催された「日蓮と法華の名宝―華ひらく京都町衆文化―」であります。この二つは、私にとりまして忘れることの出来ない、思い出深いものであります。時を経て、奇しくも何かのご縁で、また私は、宗祖降誕八百年担当課長として、日蓮宗の慶讃事業を遂行する立場となりました。本紙面で、日蓮宗が取り組む宗祖降誕八百年慶讃事業を紹介させていただく機会を頂戴致しましたこと、衷心より感謝申し上げます。

日蓮聖人は貞応元年（一二二二年）二月十六日安房国小湊（現在の鴨川市）にお生まれになりました。そのご生涯は、お釈迦様の真実の教えである妙法蓮華経によって、全ての人々を苦悩や迷いから救うことを誓い、法華経を弘め、お題目をお唱えすることを体現された六十一年間でありました。

宗門子弟の「お坊さんになりたい」気持ちを育て、青少年信徒の活動を活発にし、教育機関としての信行道場の整備を行う事業です。

宗門事業としては、建築や修繕などのハード整備事業から、ソフト整備事業に主軸を移行し、布教現場である寺院を活性化する事業展開を目指しております。

宗門事業としては、建築や修繕などのハード整備事業から、ソフト整備事業に主軸を移行し、布教現場である寺院を活性化する事業展開を目指しております。

宗門事業としては、建築や修繕などのハード整備事業から、ソフト整備事業に主軸を移行し、布教現場である寺院を活性化する事業展開を目指しております。



日蓮宗公式スマートフォンアプリ「合掌の証」



次に、「人材育成事業」の一つである、青少年信徒教化寺院八〇〇ヶ寺推進事業を紹介致します。「寺子屋」と聞くと何だか大変なことだ



と聞かれるかもしれませんが、当事業で提案するものは、そんな難しいものではありません。大切なことは、まず子ども達にお寺に集まって楽しんでもらうこと。普段はあまり来ないお寺という場所です。子どもが学びの場です。そう、「子どもが来ればそこが寺子屋」なのです。子どもを育てるということ、未来を創る日蓮聖人のお言葉で、「水あれば 魚住む、林あれば 鳥来る」とあります。もしも、このお言葉の続きに、「寺あれば ○○」とあれば、○○に皆様はどのような言葉を入れますか。私は、「人輝く」と入れます。「心とらぐ」や「人集う」などを入れる方もいるでしょう。当事業は、自坊が檀信徒や地域にとつて、どの様な存在でありたいのかを講習会で学び、「御仏の子を育む」第一歩を踏み出して頂くためのものであります。その他の各種事業につきましては、逐次進捗状況を報告させて頂いておりますので、左記アドレスでご覧下さい。

<http://gassho.info/>

寺子屋入門チラシ

### 日蓮宗宗務院

管 長 菅野日彰 財務部長 木村吉孝  
 宗務総長 中川法政 宗務総長室長 木内隆志  
 伝道局長 塩田義徹 現代宗教研究所長 三原正資  
 総務部長 生駒雅幸 日蓮宗新聞社長 館岡壽宣  
 伝道部長 関本城 参 与 渡邊義生  
 教務部長 栗原啓允 参 与 吉田顕綱  
 総務部長 高津憲周

〒146-8544 東京都大田区池上一-三二-一五  
 電話 〇三(三七五)七一一  
 FAX 〇三(三七五)七一八六  
<https://www.nichiren.or.jp>

### 法華宗(本門流)宗務院

管 長 原井日鳳  
 宗務総長 二瓶海照  
 総務部長 三吉廣明  
 教学部長 清水常光  
 布教部長 吉崎長生  
 財務部長 久野晃秀  
 企画部長 平田義生

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町二一九-一  
 電話 〇三(五六一四)三〇五五  
 FAX 〇三(五六一四)三〇五六  
<http://www.hokkeshu.or.jp>

### 顕本法華宗宗務院

管 長 大川日仰  
 宗務総長 河野時巧  
 宗務次長 吉永義康  
 教務部長 小松正学  
 財務部長 吉田諦規  
 庶務部長 小島芳明  
 社会部長 齊藤成貴  
 布教部長 朝倉俊泰

〒606-0015 京都市左京区岩倉幡枝町九一  
 電話 〇七五(七九二)七一七一  
 FAX 〇七五(七九二)七二六七

### 法華宗(陣門流)宗務院

管 長 門谷日悠  
 宗務総長 西山英仁  
 総務部長 牧野秀成  
 企画部長 金原孝宜  
 財務部長 西山聡達  
 教学部長 布施義高  
 教化部長 松吉慶憲  
 宗務参事 田中隆寛

〒170-0002 東京都豊島区巢鴨五-三五-一六  
 電話 〇三(三九一八)七二九〇  
 FAX 〇三(三五七六)〇一一一

### 本門佛立宗宗務本庁

宗務総長 小西日演  
 宗務副総長 西村日要  
 宗務副総長 谷信一  
 教育局長 高須日因  
 弘通局長 吉田日景  
 総務局長 小野山日将  
 広報局長 柏日胤  
 財務局長 小林利之  
 奉賛局長 松本日就

〒602-8377 京都市上京区御前通一条上る東堅町一〇番地  
 電話 〇七五(四六一)一六六代  
 FAX 〇七五(四六四)五五九九

### 日蓮本宗宗務院

管 長 丹治日遠  
 宗務総長 原田智光  
 財務部長 柳下正則  
 総務部長 柳下正則

〒606-8362 京都市左京区新高倉通孫橋上ル法皇寺町四四八  
 電話 〇七五(七七二)三三九〇  
 FAX 〇七五(七七二)五九一四

### 法華宗(真門流)宗務庁

管 長 上田日猷  
 宗務総長 堀智泰  
 総務部長 堀内浩善  
 教学部長 峰尾泉栄  
 教化部長 木田慧明  
 社会部長 坂本法保  
 財務部長 寺田良正  
 参 与 木村完祥

〒602-8447 京都市上京区智恵光院通り五辻上ル紋屋町三三〇  
 電話 〇七五(四四一)五七六二  
 FAX 〇七五(四四一)五六六六

### 本門法華宗宗務院

管 長 別所日山  
 宗務総長 香川日憲  
 宗務部長 増田隆雄  
 宗務部長 吉村日彦  
 財務部長 高邊晶啓  
 教務部長 山下揮正  
 庶務部長 松本真隆

〒602-8418 京都市上京区寺之内通大宮東入大本山妙蓮寺内  
 電話 〇七五(四五二)三五二七  
 FAX 〇七五(四五二)三五九七

### 宗教法人 国柱会

賽 主 田中壮谷  
 理事長 原田義彦  
 門連理事 森山真治  
 門連常任理事 藤本坦孝  
 門連理事 的場春奈  
 編集委員

〒132-0024 東京都江戸川区一之江六一一九-一八  
 電話 〇三(三五六)七二二(代)  
 FAX 〇三(三五六)九九八〇  
<http://www.kokuchukai.or.jp>

### 日本山妙法寺大僧伽

首 座 吉田行典  
 責任役員 今井行康  
 同 木津博充  
 同 川岸行孝  
 同 武田隆雄  
 同 長濱行豊  
 同 行徳行得

日本山妙法寺大僧伽事務局  
 〒150-0045 東京都渋谷区神泉町八一七  
 電話 〇三(三四六)九三六三  
 FAX 〇三(三四六)九三六七

### 京都日蓮聖人門下連合会

会 長 大川日仰  
 副会長 伊丹日章  
 理事長 吉永義康  
 副理事長 橋本一妙

京門連事務局  
 〒606-0015 京都市左京区岩倉幡枝町九一 妙満寺  
 電話 〇七五(七九二)七一七一  
 FAX 〇七五(七九二)七二六七

### 大阪日蓮聖人門下懇話会

理事長 佐野貫順 理事 福島正堯  
 副理事長 末澤禎隆 理事 木下真良  
 理事・会計 松井英光 理事 京藤日應  
 理事 門谷光瑞 理事 森田進  
 理事 藤本経尚 理事 吉村日彦  
 理事 笹川行恒 理事 高橋次郎

〒542-0012 大阪府大阪市中央区谷町八一-一四一 妙光寺内  
 電話 〇六(六七六)一九〇九  
 FAX 〇六(六七六)一九〇九

日蓮宗総本山 身延山久遠寺

法主 内野日総  
総務 持田日勇

〒409-2593 山梨県南巨摩郡身延町身延三五六七  
電話 〇五五六(六二)一〇一一  
FAX 〇五五六(六二)一〇九四

日蓮宗大本山 池上本門寺

貫首 菅野日彰  
執事長 鈴木弘信  
役員一同

〒146-8576 東京都大田区池上一一一一一  
電話 〇三(三七五二)一三三三一  
FAX 〇三(三七五二)三三五〇

法華宗(本門流)大本山 光長寺

貫首 原井日鳳  
執事長 久保木学洋

〒410-0011 静岡県沼津市岡宮一〇五五  
電話 〇五五(九二二)〇四八四  
FAX 〇五五(九二二)〇七三六

顕本法華宗総本山 妙満寺

貫首 大川日仰  
総務 吉永義康  
執事長 中村英司  
執事 湯原正純  
執事 土持悠孝  
執事 藤本慧昌

〒606-0015 京都市左京区岩倉幡枝町九一  
電話 〇七五(七九二)七二七一  
FAX 〇七五(七九二)七二六七

法華宗(陣門流)総本山 本成寺

奉安門下最古一尊四土御本尊  
日蓮大聖人佐渡御法難七五〇年法要厳修  
(令和二年)

貫首 門谷日悠  
執事長 平井良光

〒955-0845 新潟県三条市西本成寺一―一―二〇  
電話 〇二五六(三三)〇〇〇八  
FAX 〇二五六(三三)〇〇五九

法華宗(真門流)総本山 本隆寺

貫主 上田日猷  
執事長 永岡悠希  
執事 本多信正  
執事補 笹木研吾  
書記 矢放啓亮

〒602-8447 京都市上京区智恵光院通り五辻上ル紋屋町三三〇  
電話 〇七五(四四二)五七六二  
FAX 〇七五(四四二)五六六六

本門法華宗大本山 妙蓮寺

貫首 別所日山  
執事長 佐野充照  
役員一同

〒602-8418 京都市上京区寺ノ内通大宮東入妙蓮寺前町八七五  
電話 〇七五(四五二)三三二七  
FAX 〇七五(四五二)三五九七

多寶富士山 本山要法寺

貫首 丹治日遠  
執事長 原田智光  
執事 柳下正則

〒606-8362 京都市左京区新高倉通孫橋上ル法皇寺町四四八  
電話 〇七五(七七二)三三九〇  
FAX 〇七五(七七二)五九一四

本門佛立宗本山 宥清寺

住職 二十六世講有 高須日良  
執事長 白石日是  
事務局長 栢森良道

〒602-8336 京都市上京区一条通七本松西入滝ヶ鼻町一〇〇五一  
電話 〇七五(四六三)四六二〇(代)  
FAX 〇七五(四六三)四六五一

京都八本山会

大本山 本閉寺 貫首 伊藤日慈  
大本山 妙顕寺 貫首 及川日周  
大本山 本満寺 貫首 伊丹日章  
会本・本山 立本寺 貫首 上田日瑞  
本山 妙傳寺 貫首 野々垣日祐  
本山 本法寺 貫首 瀬川日照  
本山 妙覺寺 貫首 宮崎日嚴  
本山 頂妙寺 貫首 田中日淳

京都 法華門流懇話会

法華宗(真門流) 総本山本隆寺 貫主 上田日猷  
顕本法華宗 総本山妙満寺 貫首 大川日仰  
法華宗(本門流) 大本山本能寺 貫首 桃井日英  
本門法華宗 大本山妙蓮寺 貫首 別所日山  
日蓮正宗 本山要法寺 貫首 丹治日遠  
本門佛立宗 本山宥清寺 講有 高須日良  
法華宗(陣門流) 本山本禪寺 貫首 福井日進  
顕本法華宗 本山寂光寺 貫首 大川日仰

日蓮宗大本山 清澄寺

別当 金子日厚  
執事長 宮崎雅宣  
役員一同

〒299-5505 千葉県鴨川市清澄三二二二一  
電話 〇四(七〇九四)〇五二五  
FAX 〇四(七〇九四)〇五二七  
団参には是非、研修会館をご利用ください。  
一六〇名様まで可。

宗祖御降誕靈場 日蓮宗大本山 誕生寺

宗祖御降誕八百年に向かつての祈り

貫首 石川日命  
執事長 角濱監鏡

〒299-5501 千葉県鴨川市小湊一八三  
電話 〇四(七〇九五)二六二一  
FAX 〇四(七〇九五)二〇五五

日蓮宗靈跡本山比企谷 妙本寺

貫首 鈴木日敬

〒248-0007 神奈川県鎌倉市大町一―一五―一  
電話 〇四六七(二二)〇七七七  
FAX 〇四六七(二五)六九六七

日興上人御聖廟 日蓮宗大本山 富士山法華本門寺根源

貫首 旭日重  
参 川名義顕  
参 吉田日綱  
参 井野正文  
執事長 鈴木春雄

〒418-0112 静岡県富士宮市北山四九六五  
電話 〇五四四(五八)一〇〇四  
FAX 〇五四四(五八)〇三〇三

日蓮宗大本山 中山法華経寺

貫首 新井日湛  
参 田代浩敬  
参 植田観樹  
参 松中貞奨  
参 与 松本慈恵  
参 与 関観亮

〒272-0813 千葉県市川市中山二―一〇―一  
電話 〇四七(三三四)三三三三  
FAX 〇四七(三三四)一七九六

やくよけ祖師 日蓮宗本山 堀之内妙法寺

山主 山田日潮

〒166-0013 東京都杉並区堀之内三一四八―八  
電話 〇三(三三三三)六二四一  
FAX 〇三(三三三三)五〇〇七

日蓮門下お題目初唱之霊場 日蓮宗本山東身延 藻原寺

貫首 持田日勇  
総務 増田寶泉  
執事 富永一道  
執事 中川貫泰

〒297-0026 千葉県茂原市茂原一―二〇―一  
電話 〇四七五(二二)三一五三  
FAX 〇四七五(二二)一一七三

徳川家康公報恩創建 日蓮宗由緒寺院 瑞輪寺

除厄安産飯匙の祖師・七面大明神奉安

貫首 井上日修  
執事長 稲荷泰雅

〒110-0001 東京都台東区谷中四―二―一五  
電話 〇三(三八二二)四三七三  
FAX 〇三(三八二二)七〇三三

令和三年二月十六日は  
宗祖御降誕八〇〇年を  
迎えます



# 門連時報

## 京都理事会開催さる

令和元年十月二十四日(木)、日蓮宗大本山本願寺において、日蓮聖人門下連合会 京都理事会が開催され、全門連及び京都門下連合会各聖、大阪門下懇話会理事長等、五十八名が参列した。

午後一時、会場寺院である本願寺の伊藤日慈貫首を導師に仰ぎ、参加者一同が本堂に参列して法味を言上した。その後、ウエスティン都ホテルへ移動し、伊藤貫首より本願寺の沿革について詳しく講義いただいた。

午後三時、中川法政理事長が座長となり理事会が開会。事務局より上半期の事業報告がなされ、続いて京都門下連合会、大阪門下懇話会よりそれぞれ活動が報告された。



京都理事会 令和元年10月24日 大本山本願寺

慶讃事業について、事務局より「嵐圭史氏 全国朗読行脚」「西安草堂寺結集」を中心とした進捗状況が報告された。殊に昨年六月十日より同月十四日にかけて開催された「西安草堂寺結集」に関して、全行程並びに会計等の詳細な報告がなされた。

また、御降誕八〇〇年を締めくくると慶讃事業として門下連合会役員が日蓮聖人御生誕の聖地小湊に集い、報恩の誠を捧ぐ「門下連合会 小湊誕生寺結集」が提案、承認された。

理事会終了後、午後四時三十分より懇親会を開催。和やかな雰囲気の中、出席者同士が親睦を深め、有意義なひと時を過ごした。

なお、本年の京都理事会は顕本法華宗総本山妙満寺を会場として開催される予定である。

### 京都日蓮聖人門下連合会事業開催

#### お会式法要

去る十月五日、日蓮宗本山本願寺に於いて宗祖御入滅七三八年お会式法要を執り行った。午後一時、快晴のもと橋本一妙理事長を先頭に唱題行脚隊が本願寺を出発し、途中法華宗(陣門流)本山本願寺にて報恩万灯練り供養隊と合流し、本願寺へと戻った。今回、万灯供養隊には京都「みのり会」、大津「菩薩団」の合わせて四〇名が出仕した。宗祖を偲び、纏をふり、お囃子、団扇太鼓を打ち鳴らす万灯隊と唱題行脚隊の姿に、手を合わせる姿も見られた。午後二時三十分より本堂で顕本法華宗総本山妙満寺貫首大川日仰祝下の「久遠の

救い」の講題で法話があり、引き続き伊丹日章祝下大導師、橋本一妙、永岡悠希正副理事長脇導師に法要を式した。門下本山各貫首祝下、京都門連役員、満座の檀信徒と共に異体同心で宗祖の遺徳を偲び、お題目をお唱えし報恩感謝の誠を捧げた。

かねてより新築工事を進めていたホテル本能寺が去る十月十一日リニューアルオープンした。ホテル本能寺は昭和三十七年に開業し、大本山本能寺参拝関係者、個人客、団体客、特に全国の修学旅行生の宿泊にひろく使われ、京都門連も夏季大学、理事会、法華門流懇話会、懇親会などで良く利用した。法華宗(本門流)大本山本能寺に隣接し、市内の中心地にあり交通の便がたいへん良く京都市民にも永く愛されているホテルである。

十一日にオープンし、翌十二日夕刻に本能寺桃井日英貫首、尼崎市大本山本興寺小西日遠貫首が御臨席し、門下本山各貫首、各山執事、本能寺役員各聖、本山関係者多数列席し完成祝賀の会を盛大に開催し、ホテル本能寺の更なる隆盛を一同祈願した。

ホテル本能寺は従来のイメージを一新し、ホテルとしての機能性と和のおもてなしを兼ねそなえた和モダンのホテルで、地上二十七メートルの最上階には市内で最大級の大浴場を四カ所そなえ、くつろげる近代的なホテルとして生まれ変わった。

#### 本山頂妙寺晋山式

十月二十九日、日蓮宗本山頂妙寺に於いて第九十一世田中日淳祝下の晋山式が奉行された。中川法政日蓮宗事務総長、井上日修日蓮宗全国本山会会長、新井日湛中山法華経寺貫首はじめ宗門内外より三〇〇名の各聖各位の参列があり、厳かな雅楽の音色を先頭に境内を練り行列をし、田中新貫首が本堂に入堂され晋山式を閉式した。新貫首は永く声明師連合会副会長を務め

年月日	氏名	宗派	門連役職	就任	退任
令和元・一〇・一六	田中英潤	日蓮正宗	常任理事	就任	退任
令和元・一一・一三	佐藤日賢	法華宗(本門流)	顧問	就任	退任
令和二・一一・一	伊丹日章	京都門下連合会	顧問	就任	退任
令和二・一一・一	大川日仰	京都門下連合会	常任理事	就任	退任
令和二・一一・一	橋本一妙	京都門下連合会	常任理事	就任	退任
令和二・一一・一	吉永義康	京都門下連合会	常任理事	就任	退任

#### 第三十回研修会

当会は、年末に研修会を開催しており昨年は十二月十二日に上六・天山閣に於いて開催、四時半から六時まで講義、六時半より懇親会がおこなわれた。

本門法華宗中村日遊顧問の司会のもと講師は、日蓮宗欣心寺住職の東孝信顧問。議題は「えびす・大黒」ことだけの話」。

内容は、「正量部」の伝承による教えで、天、宇宙の生成、神の誕生、そして、人間が地上に生まれた等、「古事記」の内容も含めた幅広い講演であった。



### 大阪日蓮聖人門下懇話会事業開催

#### 第二十七回合同御会式

合同御会式が、昨年十一月十日大阪市中央区の日蓮宗妙光寺に於いて開催され、日蓮宗の松井英光理事の司会のもと、佐野貫順理事長を導師に奉行され、お会式の開催の多い日程でありながら、多数の理事の方々や檀信徒が列席して奉行された。

法要後、日蓮宗の妙政寺住職松井英光理事の「いのちに合掌」と題する法話と旭堂南麟師匠による講談「日蓮聖人御一代記」が講じられた。

#### マンガ日蓮(上巻・下巻)お知らせ

令和元年十一月十日(小松原法難前夜)日蓮大聖人御降誕八〇〇年記念として、法華宗(真門流)教化部長・木田慧明上人が、大聖人の御一代記をマンガ絵本として上梓された。

タイトルは「日蓮(上巻・下巻)高祖日蓮大聖人とはいかなるお方か」。

内容は日蓮大聖人が「末法の法華経行者」であり、本化地涌の菩薩の代表「上行菩薩の応現」であることを明かし、さらに「三秘法の南無妙法蓮華経」について、「本尊抄」を基にわかりやすく説明がなされている。

A4判、上巻88ページ、下巻90ページのフルカラー。若者も含め幅広い世代に、日蓮大聖人の御一生と偉業を正しく分かりやすく伝えるものとなっている。

なお、広く世の人々に知っていただく為にネット書店にて販売中。「日蓮(上巻・下巻)」で検索。

問い合わせ090-2127-4300(木田)

ご家族と共に子孫に伝える信仰の証

# 日蓮宗全国五十七箇本山 御朱印めぐりセット

日蓮宗の本山五十七箇寺を巡り五十七紙の貫首さまの御首題に御朱印を拝受し巡る生涯忘れ得ぬ感動の旅を



監修 日蓮宗全国本山会

【セット内容】(箱入り)  
 57本山貫首さまの御首題 57紙+白紙3枚 計60枚  
 御首題携行帳 3帳(予備2帳)  
 参拝案内カード 57種(最新地図・交通情報)  
 手引書 1冊  
 ※参拝のワンポイント・団参コース等の案内

頒価2,200円(税込・送料別)

頒価 3,300円  
【税込・送料別】

「全国五十七本山めぐり」完全対応・必携の書。

日蓮宗五十七本山の伝記と歴史の旅案内。幾星霜、信仰を支えてきた縁に映える伽藍の偉容、日蓮聖人とお弟子たちの歴史への旅案内。

※セット内容イメージ



各派・教団・短信

奉修。

◆十一月十二日、大本山妙蓮寺に於いて御開山日像菩薩御報恩法要並びに三師会・歴代上人法要を奉修。

◆本門法華宗学院(渡辺日恩学院長)第七十一回教学講習会を十一月二十五～二十六日、卯木講堂にて開講。

◆機関紙『信行』第九十二号、布教誌『生きる』第七十三号を一月一日に発行。

(吉村光敬)

国柱会

◆令和元年十月一日、月旦

大國禱。五日、九州地方連合局婦人部大会(於、北九州ハイツ)に、賽主先生御出席。

◆九月二十六日、総本山本隆寺に於いて、秋季彼岸法要厳修。

◆十月八日～十四日、総本山本隆寺に於いて、秋季学林開講。

◆十月十二～十三日、総本山本隆寺に於いて、お会式法要奉修。御会式法要、戦没者追悼平和祈願法要。

◆十月二十九日、法華宗真門流青年会主催の比叡山唱題行脚開催。

◆十一月九～十日、総本山本隆寺に於いて、東山未生流いけばな展開催。

◆十月二十一～二十二日、第二教区護法会合掌の旅開催。

◆十二月四～五日、「令和元年度定期宗会」開催。

◆一月一日～八日、総本山本隆寺に於いて、年頭国持会・法華八講開催。

本門法華宗

(矢放啓亮)

◆十月十二日、大本山妙蓮寺(別所日山貫首)に於いて、宗祖日蓮大聖人御会式法要を

明治の日法案提出促進院内集

会(於、衆議院第二議員会館)森山真治運営委員出席。中央有志出席。

◆十一月一日、月旦大國禱。二日、天皇陛下御即位奉祝国民祭典スタッフ打合せ(於、東京商工会議所)に、森山真治理事出席。三日、明治節慶讃法要。賽主先生以下中央同志、明治神宮参拝。六日、国柱会本部監査実施。七日、ロータスヴィアラ芋煮会開催。

(吉村光敬)

国柱会

◆令和元年十月一日、月旦

大國禱。五日、九州地方連合局婦人部大会(於、北九州ハイツ)に、賽主先生御出席。

◆九月二十六日、総本山本隆寺に於いて、秋季彼岸法要厳修。

◆十月八日～十四日、総本山本隆寺に於いて、秋季学林開講。

◆十月十二～十三日、総本山本隆寺に於いて、お会式法要奉修。御会式法要、戦没者追悼平和祈願法要。

◆十月二十九日、法華宗真門流青年会主催の比叡山唱題行脚開催。

◆十一月九～十日、総本山本隆寺に於いて、東山未生流いけばな展開催。

◆十月二十一～二十二日、第二教区護法会合掌の旅開催。

◆十二月四～五日、「令和元年度定期宗会」開催。

◆一月一日～八日、総本山本隆寺に於いて、年頭国持会・法華八講開催。

本門法華宗

(矢放啓亮)

◆十月十二日、大本山妙蓮寺(別所日山貫首)に於いて、宗祖日蓮大聖人御会式法要を

◆四月二十六日(金)立教開

宗会(比叡山横川定光院)導師伊丹日章院下、講師法華宗(真門流)布教師、観光東福寺。

◆六月初旬予定 理事会(日蓮宗務所) 第五十五回夏季大会の件。

◆六月中旬予定 門下本山会主伴会 当番法華宗(真門流)総本山本隆寺。

(永岡龍明)

京都市門下連合会

平成三十一年度行事予定

◆一月二十五日(金)新年理事会(レストラン菊水) 今年度会長伊丹日章院下、副会長上田日猷院下、理事長橋本一妙師、副理事長永岡悠希師。

◆二月十六日(金)総会・御降誕会(日蓮宗大本山妙蓮寺)導師妙顕寺貫首及川日周院下、講師本隆寺貫首上田日猷院下。

◆三月九日(土)理事会(日蓮宗宗務所) 立教開宗会の件。

◆四月二十六日(金)立教開宗会(比叡山横川定光院)導師伊丹日章院下、講師法華宗(真門流)布教師、観光東福寺。

◆六月初旬予定 理事会(日蓮宗務所) 第五十五回夏季大会の件。

◆六月中旬予定 門下本山会主伴会 当番法華宗(真門流)総本山本隆寺。

◆六月頃予定 全門身延理事(身延山久遠寺) 会長、理事長等出席。

◆八月三十一日(土) 第五十五回夏季大会(本能寺文化会館) 講師伊丹日章院下(本山本満寺貫首) その他講師未定。

◆同日 理事会(本能寺文化会館) 御会式の件。

◆十月五日(土) 御会式(日蓮宗本山本満寺) 導師伊丹日章院下、講師法華門流本山貫首。

局長に生駒雅幸師、伝道部長

に関本城師、教務部長に栗原啓允師、総務部長に高津憲周師、参与に渡邊日祥師が就任した。

(大澤宏明)

法華宗(本門流)

◆一月十三日、茂原市

大本山鷲山寺新本堂上棟式。

◆三月五日、興隆学林専門学校の令和元年度卒業式が行われる。行学二道に励んだ学林での経験を糧に、卒業生は布教の第一線に立つ。当校は他門流・一般信徒の入学生も受け入れており、現在通学中。令和二年度の新生を募集している(※)。

◆三月九日、第三十三回法華宗教学研究発表大会(メルパルク京都)。本年も研究発表のほか、特別講演(天理大学教授幡鎌一弘先生)と桂林学術賞受賞記念講演(大平寛龍師)を予定。一般聴講可(※)。

◆三月十一日、東日本大震災犠牲者慰霊・復興祈願法要(法華宗宗務院) 奉修。

◆四月八日、興隆学林専門学

校入学式。

◆四月十日、戦没者慰霊法要(千鳥ヶ淵戦没者墓苑)

※聴講希望、学林への問い合わせは宗務院(03-5614-3655)まで。

日蓮宗

◆本年九月、宗門法要として「龍口法難七五〇年法要」を営む予定。

◆総本山身延山久遠寺の古式豊かな「御年頭会」が一月十三日に行われ、六老門跡寺院貫首をはじめ宗務内局、檀信徒らが参列し、祖師堂で年頭会法要、法要後には境内で「曳馬式」が行われた。

◆昨年十二月五日、中川宗務総長は役員人事を行い、総務

布教講習会が開催された。特

別講師の大川日仰管長院下よりの「顕本法華宗法護持顕揚」と題する講義と、特命布教師・川崎英真師より「顕本法華宗の僧侶としての自覚と立場を考える」と題する講義が行われた。

◆十月三十一日～十一月一日、総本山妙満寺において全国布教師研修会並びに布教師会総会が二日間に亘り開催された。三十一日(一日目)の研修会では、布教総監・河村日斌院下を講師に迎え、「諷誦章における部経について」と題する講義が行われ、その後総会が開催された。一日(二日目)は、京都市東山区五条、鳥辺山墓地にて常楽院日経上人をはじめとする旧上行寺ゆかりの先師報恩法要が執り行われた。

◆十一月五日、総本山妙満寺において西部教区布教講習会が開催された。特別講師の大川日仰管長院下より「顕本法華宗法護持顕揚」と題する講義と、特命布教師・川崎英真師より「顕本法華宗の僧侶としての自覚と立場を考える」と題する講義が行われた。

◆十一月五日、総本山妙満寺において西部教区布教講習会が開催された。特別講師の大川日仰管長院下より「顕本法華宗法護持顕揚」と題する講義と、特命布教師・川崎英真師より「顕本法華宗の僧侶としての自覚と立場を考える」と題する講義が行われた。

◆十一月五日、総本山妙満寺において西部教区布教講習会が開催された。特別講師の大川日仰管長院下より「顕本法華宗法護持顕揚」と題する講義と、特命布教師・川崎英真師より「顕本法華宗の僧侶としての自覚と立場を考える」と題する講義が行われた。

◆十一月五日、総本山妙満寺において西部教区布教講習会が開催された。特別講師の大川日仰管長院下より「顕本法華宗法護持顕揚」と題する講義と、特命布教師・川崎英真師より「顕本法華宗の僧侶としての自覚と立場を考える」と題する講義が行われた。

◆十一月五日、総本山妙満寺において西部教区布教講習会が開催された。特別講師の大川日仰管長院下より「顕本法華宗法護持顕揚」と題する講義と、特命布教師・川崎英真師より「顕本法華宗の僧侶としての自覚と立場を考える」と題する講義が行われた。

◆十一月五日、総本山妙満寺において西部教区布教講習会が開催された。特別講師の大川日仰管長院下より「顕本法華宗法護持顕揚」と題する講義と、特命布教師・川崎英真師より「顕本法華宗の僧侶としての自覚と立場を考える」と題する講義が行われた。

◆十一月五日、総本山妙満寺において西部教区布教講習会が開催された。特別講師の大川日仰管長院下より「顕本法華宗法護持顕揚」と題する講義と、特命布教師・川崎英真師より「顕本法華宗の僧侶としての自覚と立場を考える」と題する講義が行われた。

◆十一月五日、総本山妙満寺において西部教区布教講習会が開催された。特別講師の大川日仰管長院下より「顕本法華宗法護持顕揚」と題する講義と、特命布教師・川崎英真師より「顕本法華宗の僧侶としての自覚と立場を考える」と題する講義が行われた。

◆十一月五日、総本山妙満寺において西部教区布教講習会が開催された。特別講師の大川日仰管長院下より「顕本法華宗法護持顕揚」と題する講義と、特命布教師・川崎英真師より「顕本法華宗の僧侶としての自覚と立場を考える」と題する講義が行われた。

◆十一月五日、総本山妙満寺において西部教区布教講習会が開催された。特別講師の大川日仰管長院下より「顕本法華宗法護持顕揚」と題する講義と、特命布教師・川崎英真師より「顕本法華宗の僧侶としての自覚と立場を考える」と題する講義が行われた。

◆十一月五日、総本山妙満寺において西部教区布教講習会が開催された。特別講師の大川日仰管長院下より「顕本法華宗法護持顕揚」と題する講義と、特命布教師・川崎英真師より「顕本法華宗の僧侶としての自覚と立場を考える」と題する講義が行われた。

◆十一月五日、総本山妙満寺において西部教区布教講習会が開催された。特別講師の大川日仰管長院下より「顕本法華宗法護持顕揚」と題する講義と、特命布教師・川崎英真師より「顕本法華宗の僧侶としての自覚と立場を考える」と題する講義が行われた。

起と法華経の役割を考える一

仏教の史的変遷を中心に」との講題でお話を頂いた。五日は、本宗の北海寺を参拝したのち、閉講式を行った。

◆十一月十八日、研究発表会、宗学研究所員会が宗務院において開催された。

◆十一月十九日、研究発表会、学林教授会が宗務院において開催された。

◆十一月二十五日、布教研究所報編集会議が宗務院において開催された。

◆十二月四日～五日、宗務院において新任職・学生・沙弥合同研修会が開催された。教

学だけでなく、講師の体験を交えた布教活動の実践についての講義を受け、新任職は法話実修などを行い研鑽に励んだ。

◆十一月五日、総本山妙満寺において西部教区布教講習会が開催された。特別講師の大川日仰管長院下より「顕本法華宗法護持顕揚」と題する講義と、特命布教師・川崎英真師より「顕本法華宗の僧侶としての自覚と立場を考える」と題する講義が行われた。

◆十一月五日、総本山妙満寺において西部教区布教講習会が開催された。特別講師の大川日仰管長院下より「顕本法華宗法護持顕揚」と題する講義と、特命布教師・川崎英真師より「顕本法華宗の僧侶としての自覚と立場を考える」と題する講義が行われた。

◆十一月五日、総本山妙満寺において西部教区布教講習会が開催された。特別講師の大川日仰管長院下より「顕本法華宗法護持顕揚」と題する講義と、特命布教師・川崎英真師より「顕本法華宗の僧侶としての自覚と立場を考える」と題する講義が行われた。

◆十一月五日、総本山妙満寺において西部教区布教講習会が開催された。特別講師の大川日仰管長院下より「顕本法華宗法護持顕揚」と題する講義と、特命布教師・川崎英真師より「顕本法華宗の僧侶としての自覚と立場を考える」と題する講義が行われた。

◆十一月五日、総本山妙満寺において西部教区布教講習会が開催された。特別講師の大川日仰管長院下より「顕本法華宗法護持顕揚」と題する講義と、特命布教師・川崎英真師より「顕本法華宗の僧侶としての自覚と立場を考える」と題する講義が行われた。

◆十一月五日、総本山妙満寺において西部教区布教講習会が開催された。特別講師の大川日仰管長院下より「顕本法華宗法護持顕揚」と題する講義と、特命布教師・川崎英真師より「顕本法華宗の僧侶としての自覚と立場を考える」と題する講義が行われた。

◆十一月五日、総本山妙満寺において西部教区布教講習会が開催された。特別講師の大川日仰管長院下より「顕本法華宗法護持顕揚」と題する講義と、特命布教師・川崎英真師より「顕本法華宗の僧侶としての自覚と立場を考える」と題する講義が行われた。

◆十一月五日、総本山妙満寺において西部教区布教講習会が開催された。特別講師の大川日仰管長院下より「顕本法華宗法護持顕揚」と題する講義と、特命布教師・川崎英真師より「顕本法華宗の僧侶としての自覚と立場を考える」と題する講義が行われた。

本門佛立宗

◆佐古弘純

◆昨年十一月九日から十三日にかけて、台湾教区に講有日良上人が巡教された。巡教中、台北佛立寺並びに台北地区と烏山頭ダムでの日本人物故者慰霊法要を講有日良上人が奉修。今回「台湾で最も尊敬される日本人」として知られる八田與一技師の肖像にてご回向の法要の一座も奉修され、日台友好親善を祈った。

◆昨年八月二十五日、佛立青少年グローバルネットワーク(HBSY)主催による一万遍口唱会が本山有清寺にて開催された。本年開催を予定している第七回青少年の一座の無事成就を祈願し、東京や福岡から約五十名が参加。早朝七時から十二時までの五時間にわたり熱心に口唱を重ねた。

◆昨年八月二十五日、佛立青少年グローバルネットワーク(HBSY)主催による一万遍口唱会が本山有清寺にて開催された。本年開催を予定している第七回青少年の一座の無事成就を祈願し、東京や福岡から約五十名が参加。早朝七時から十二時までの五時間にわたり熱心に口唱を重ねた。

◆昨年八月二十五日、佛立青少年グローバルネットワーク(HBSY)主催による一万遍口唱会が本山有清寺にて開催された。本年開催を予定している第七回青少年の一座の無事成就を祈願し、東京や福岡から約五十名が参加。早朝七時から十二時までの五時間にわたり熱心に口唱を重ねた。

◆昨年八月二十五日、佛立青少年グローバルネットワーク(HBSY)主催による一万遍口唱会が本山有清寺にて開催された。本年開催を予定している第七回青少年の一座の無事成就を祈願し、東京や福岡から約五十名が参加。早朝七時から十二時までの五時間にわたり熱心に口唱を重ねた。

◆昨年八月二十五日、佛立青少年グローバルネットワーク(HBSY)主催による一万遍口唱会が本山有清寺にて開催された。本年開催を予定している第七回青少年の一座の無事成就を祈願し、東京や福岡から約五十名が参加。早朝七時から十二時までの五時間にわたり熱心に口唱を重ねた。

◆昨年八月二十五日、佛立青少年グローバルネットワーク(HBSY)主催による一万遍口唱会が本山有清寺にて開催された。本年開催を予定している第七回青少年の一座の無事成就を祈願し、東京や福岡から約五十名が参加。早朝七時から十二時までの五時間にわたり熱心に口唱を重ねた。